

2024年度事業報告書

(2024年4月1日～2025年3月31日)

1. 事業の成果

感染症による自粛解除に伴い、来所相談数は徐々に増えている。同時に対面相談が難しかった期間に増加したメール相談も継続して届いており、メールは自前のスマートフォンから送れる等いい意味での気軽さがあり、電話に比べて敷居が低く感じられ、相談しやすい手段として定着したのではと思われる。また、今まではあまり無かった太良町・唐津・厳木・伊万里などの遠方の圏域からの相談も目立った。なお、エリアが広がったことで得た新たな課題もあり、遠方の相談に対応する最中に、従来の主な活動圏域である佐賀市内に比べると高次脳機能障害の啓発が行き届いていないことを痛感することが多々あった。改めて、佐賀市近郊以外の市町や関係機関への啓発の強化に尽力すべきだと感じた。

ぷらむ佐賀が法人化してから10年を経たが、取り組むべき課題は尽きない一方、今では個人だけに留まらず、近郊の医療機関や福祉関係、介護施設など、様々な施設から高次脳機能障害に関する多種多様な相談を受けている。当事者やそのご家族を紹介いただく機会も増えており、いずれも継続的な活動によって「ぷらむ佐賀」が佐賀県内に浸透した成果だと思われる。

2. 事業実績

A) 相談・支援

高次脳機能障害に関する日常生活の諸問題についての相談受付、解決法の提示、及び解決に向けての活動を実施。

- 場所：佐賀県佐賀市新中町8-20
- 事業日程：相談業務受付 通年 火曜～土曜(10時～17時)
- 従事者：1名
- 対象：高次脳機能障害当事者、家族、行政福祉等の関係者

相談方法	電話	来所	メール	その他
	232	44	14	10

のべ相談人数 300名 のべ相談件数 697件

B) 主催

1 研修会開催

2024年(令和6)年度 高次脳機能障害研修会

日時：令和6年10月20日(日)13:30～

場所：アバンセ 4階 第4研修室

講師：野々垣睦美 先生 (作業療法士・クラブハウスすてっぷなな 統括所長)

テーマ：「当事者の社会復帰とその後の支援」

参加者：43名

2 支援会議：5回(21名)

3 勉強会開催：2回(8名)

テーマ・自動車運転について

・親なき後の居住地に関して

4 家族会開催：6回(54名)

5 その他・会報誌「なかま」第9号発行

・リーフレットの配布による啓発活動

C) 協力

1. 協議会等参加

・令和6年度 第1回 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
・令和6年度 第1回 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議
日 時：令和6年6月26日 ※Web会議

・令和6年度 第2回 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
・令和6年度 第2回 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議
日 時：令和7年2月14日 ※Web会議

・令和6年度 第1回 佐賀地区自立支援協議会全体会議
日 時：令和6年7月30日
場 所：佐賀市役所(大和支所) 3階第4会議室

・令和6年度 第2回 佐賀地区自立支援協議会全体会議
日 時：令和7年2月7日
場 所：佐賀市役所(大和支所) 3階第4会議室

・熊本保健科学大学応用高次脳機能障害作業療法学
ゲストスピーカーとしての講話
日 時：令和6年7月2日
テーマ：「高次脳機能障害者と暮らすということ」

2. 講習会参加

・第2回高次脳機能障害リハビリテーション講習会
日 時：令和7年2月11日
場 所：アバンセ 第2研修室

3. 支援会議参加 7回 (44名)

4. 北九州市の家族会「高次脳機能障害を考える会 虹」参加

《令和7年度事業計画》

- 相談支援事業並びに交流促進事業
- 高次脳機能障害研修会開催
- 関係機関との意見交換会
- 後見人に関する勉強会開催
- 会報誌の発行